

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

長橋小	学校
-----	----

児童数	31
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.36	23.36	36.09	44.00	43.27	9.15	154.09	21.27	55.73
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	15.15	19.55	36.55	37.55	40.45	9.68	145.75	14.85	54.32
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

体力合計点は、男子は全国平均と比べると約3.5ポイント上回り、女子は全国平均より0.01ポイント上回った。運動の種目別に見ていくと、男子は握力と20mシャトルラン以外は、すべての種目で全国平均を上回り、女子は握力、長座体前屈、反復横跳び以外は、すべての種目では全国平均を上回った。今年度の調査結果からは、男女とも全般的に結果が全国平均を上回り、運動、体力面の向上が伺える。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、男子は肯定的な回答が100%・女子は85%であるものの、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合で、女子は15%と全国平均（14.6%）を上回っており、男子においては0分と答えた割合が9.1%と全国平均（4.3%）の2倍以上もある。コロナ禍の影響もあると考えるが、運動習慣を身につけさせる取り組みを今後も実施していく課題を残した。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度も、学期に1回程度、体力向上推進週間を設け、運動の楽しさを味わわせ、自身の体力に興味・関心をもつとともに進んで体力づくりに取り組んできた。その際、がんばりカードの活用を積極的に行うことで、目標を立てて運動し自己の運動能力・体力の向上を視覚的に実感できるようにした。普段から運動に親しむ児童が増え、休み時間に外に出てサッカーをするなど、意欲的にスポーツに励む子どもたちの姿が見られる。

今後もトップアスリート派遣を通じ、運動の質を高めるために専門的なトレーニング方法や身につけたい能力にターゲットを絞った運動を取り入れることも視野に入れ、実践を重ねたい。児童のやる気を引き出す体育授業のさらなる工夫や日常的に運動に親しみがもてるような外遊びの工夫、室内での運動環境の充実に取り組んでいきたい。